

自治省消防庁納め防災情報システム

笠井明久* 岩瀬正尚*
 中島弘善* 清水タケル**
 畑森壽文*

要旨

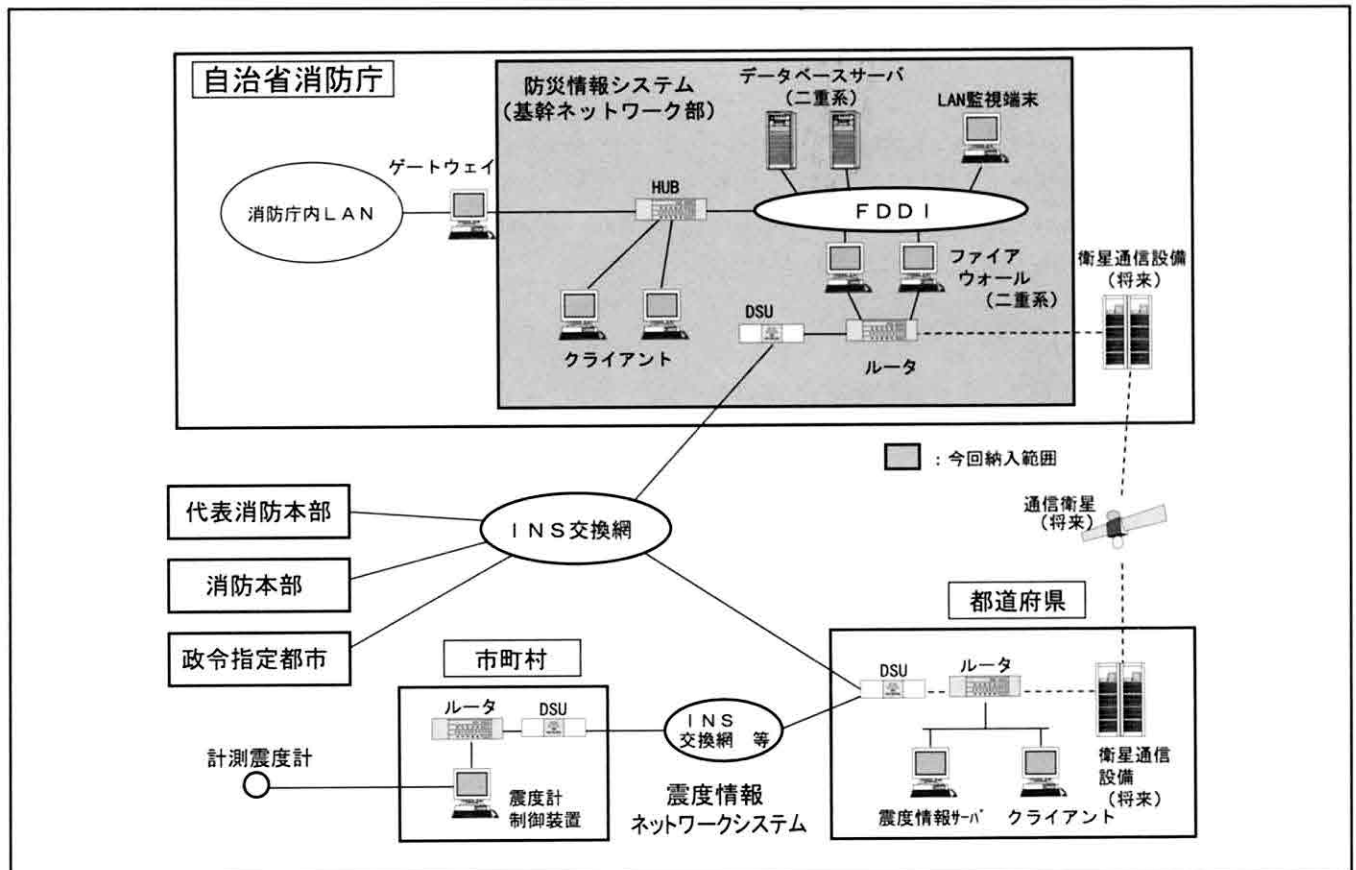
空前の大災害となった阪神・淡路大震災を引き金に、防災関連システムの重要性が再認識され、防災設備の整備が急ピッチで進んでいる。阪神・淡路大震災のように広範囲で大規模な災害に対して有効な防災対策を実施するためには、全国規模の防災情報ネットワークシステムの整備、災害時の自治体間相互支援、災害時の通信インフラ確保などの課題を解決する必要がある。

このたび、これらの課題を解決するため、三菱電機では、日本全域を網羅する防災情報ネットワークシステムを製作し、自治省消防庁へ納入した。

このシステムは、消防庁に設置されるデータベースサー

バを中心とする基幹ネットワーク設備及び全国に配備される多数のクライアント設備がISDN回線で接続される広域ネットワークを形成しており、日本における防災情報システムの最上位的存在となるものである。

このシステムの特長は、①インターネット技術に応用したイントラネットシステムであること、②24時間稼働を可能にした信頼性の高い大規模ネットワークシステムであること、③全国に配備されるクライアントで平常時及び災害時に有効に利用できるシステムであること、④部外者によるデータ盗用や改ざん(竄)を防止するセキュリティ機能が充実していること等である。



自治省消防庁防災情報システム

1995年度に、自治省消防庁向けにイントラネット型防災情報システムを製作して納入した。このシステムは、日本全域を網羅する広域ネットワークシステムであり、インターネットの構築技術に応用し、データベース、セキュリティ、電子メール等の技術を駆使している。なお、震度情報ネットワークシステムは、各都道府県が設置したものであり、防災情報システムとの連携を考慮したものである。